夕刊 常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210番
編集兼印刷発行人 吉田甫

産婦人科 斎藤医院 入室完備 平市南町 電九〇二 駅ヨリ三分

炭礦専門に百万圓 内郷署 窃盗二人組を検挙

内郷署では常磐炭砿販売所を専門に荒し廻つていた二人組窃盗犯人を検挙取調べ中だつたが、総額百十余万円に達する全ぼうが明らかとなつたので、廿七日一応地検平支部に身柄を送検した。

朝鮮生れ住所不定無職、前科十二犯吉村一夫こと梁太曲(四五)を去る十四日夜、共犯の常磐市字向田露店商結城幸七(三七)方に潜伏中をつきとめ、両名を検挙取調べたところ、去る三月廿八日夜内郷市大字綴字秋山の常磐炭砿秋山販売所に忍び込み煙草一千九百箇、その他衣類など合計八万四千円相当を窃取したほか、同四月十二日夜も、同様同所から煙草一千三百二十箇ふとん、ズボンなど合計八万円相当を盗み。

更に常磐市字八仙常磐炭砿八仙販売所に忍び込み煙草、自転車、白米など約三十万円相当を窃取したほか昨年十月から検挙されるまで十数件、合計内郷市内から八十万円常磐市内から三十万円総合計でなんと百十万余円の窃盗を働いていたことを自供した。

前科十二犯の強者 投売したラジオから足つく

検挙の端緒は時価一万五千円のラジオをわずか二千円台で売り歩いている男のあることを聞いた内郷署本田刑事が不審に思い、取調べたところ、去る七日夜常磐市三函大和電気商会高橋武男さん方で高級ラジオ三台が盗難に逢い、件の男が売り歩いた品物と同一のものであることが判明、漸く潜伏先をつきとめ、十四日夜寝込みを襲つて検挙したもの。

キャンプ研修会

石城地方4Hクラブキャンプ研修会では二十四日夜から三日間 絶景の地県立公園磐城舞子海岸に約百名の会員からなるキャンプレクリエーションを行つた。

この行事は運営と技術に於て健全な農民の指導者の育成講習を主旨として行はれたもので七張りのキャンプを設営し石城地方事務所井沢所長から「冷害対策に関する講義」、同改良課長並に改良係からは「農業技術、一般生活改善について」などの講演があるなど意見を交換しながらこれらについて色々な角度から活発に討議、又各グループによる「プロジエクトの交換」もあつたりして盛会裡に終了した

教委所長会

二十八日福島市で開かれる県下教委出張所長会議に石城教委出張所佐久間武響氏が出席する。

農協郡別会議

第四回管内農協郡別会議は三十日午前十時から平市農業会館で開き◆農協強化三ケ年実せん運動◆農協生命共済推進の件、などについて協議する、出席者は各農協組合長三十五名。

四市合併は必然 都市計画もこの線で

二十五日平市都市計画状況視察の為来平した建設省計画局高谷建設課長は平市内の各地を視察の結果次のように語つた。

高谷課長談

「将来は平、内郷、常磐、磐城の四市は当然合併されるものと考え。この基盤に立つて独自の都市計画を進めなければならない、統一性の有る近代文化都市を建設することは今後最も望ましいことであり、四市総合の体育場並に公営誤楽施設の完備なども非常に身近かな問題として取り上げて推考すれば平市独自の都市計画と云うことそれ即ち四市一体の都市計画なのだ、この意味に於て平市の三十米道路が小名浜まで直線延長させることは実に好ましい事業である、今後も極力三十米道路改良事業以上の援助をするつもりであると堅実な意見を述べるとともに全都市計画について全面的に後援することを確約した、これに伴つて平市としては二十九年度都市計画事業の一環として着手した長橋ー鎌田線のうち付け換え国道月見町ー鎌田間延長約九百米の巾員二十四米改良道路工事を三十年度工事として工費一億五千万円を計上、二、三日中に県に陳情することになつた。

なお同国道事業によつて旧鎌田橋の真下流に永久コンクリート橋を建設、夏井川堤に旧神谷側からは巾員十八米の道巾で原種農場前の現国道筋に連なる延長長橋ー原種農場間の直線新国道を施設することになつた。

警察移動(平署管内)

県警察本部では八月一日付をもつて県下各署の人事異動を発令するが平署管内の異動は左記の通りである(旧任はいづれも平)、

◆巡査部長、平、吉田東(本室◆巡査、機動班、丹野吉昭、〃小野栄、〃、菊地昭二、桑折。管野和夫、川俣、佐久間栄、本宮、鈴内幸雄、白河、児島鶴吉〃管野喜七、三春、荒厚、小野新町、草野盛次、猪苗代、星峯、喜多方、条谷清重、〃、藤本繁、坂下、佐藤俊男、〃、鈴木常夫、常磐、真野正太郎、磐城根本鬼一、浪江、高橋忠。

七夕祭

八月四日から恒例の七夕祭が行われることになつた、例年のことではあるが平の名物年中行事として盛大に行われ、デフレになやむ商業都市としての平を賑かにしたいものである、又冷害を気づかつている農村の人々に楽しみと生気を与える行事としたいものである。

タナバタの起り

古来の伝説によれば、この日にはトウ牛、織女の二星が、天の川に至りかささぎが羽を拡げて渡した橋を渡つて年に一度の会見をするという夏の夜にふさわしいローマンスを語る日である。トウ牛は彦星といつて耕作に関係ある星であり、織女は棚機姫といつて機織の星である。我が国の機は昔は棚があつたので、タナバタというようになり七月七日に、これをあてて七夕をタナバタと云うようになつたのである。

中国の星祭

中国に於ては、千七、八百年前の漢の時代より星祭が行われた、子女は、この星に幸福と恋愛を祈り、機織と裁縫の技術の向上を祈れば三年のうちには必ず効ありといわれた、針に糸をさして婦女はサイロを結び、七孔の針をうがち瓜を庭に供えた

唐代になると音楽を奏し五色糸をつなぎ合い竹の先に五色糸をかけた。平安朝の初期に(西八〇〇年)わが国に伝来したことは万葉集の歌によつてわかるのである。

一年に七日の夜のみ
あふ人の恋も つきねば
夜はふけゆくも

日本の七夕祭

平安時代の七夕は次のようなものであつた、宮中の清涼殿の東庭に赤しつ高机を四脚おいて北に面した二脚には十三ゲンのコト、こうろ、鏡、針、糸、蓮花、南の二脚には鯛、あわび、枝豆なす、梨、瓜、桃を置いた即ち海の幸、山の幸を供えて豊年豊作を祝う農業祭であつた、江戸時代になつて七夕の歌を色紙に書いて葉竹に結びつけるようになつたのである。

各地の七夕

ネムタは旧七月一日から六日の夕まで行われ紙製、燈籠式のものを持ち廻るものと多数の人で運ばれる大形のものとがある本県では「ネムタ流し」山形県では「ネブリ流し」といわれている。本県耶麻地方では七日の朝「ネムタ流し」として七夕に飾つた竹を川に流し葉が流れるのを水渡しをするといい、山形県の鶴岡では「ネブリ流し」と称して台の上に畳を敷いて、そこで遊ぶ。こうして一年中の睡気を流して睡魔に襲われることのないよう祈つた行事であろう

この日、七に関係のある七回食とか七回水泳や女の髪洗い行事などの行事が行われる。

石城の七夕

旧七月六日より色紙をさげた笹竹を立て早朝に里芋の葉の露をすゞりに入れて字を書くと上達すると云われている。終つた笹竹は畑に立てるが、作物に虫がつかないと云う。笹竹は川や海に流す。農家では六日夕、麦わらで馬を二匹つくり門口に向い合せにつないでおく。これは七夕様が乗つてくるとも、仏様が乗つてくるとも云われている。七日の朝早く子供達は、この馬を引いて朝草刈りに行く、七夕がすむと、この馬は馬屋の屋根にあげ、或は川や海に流すのである。なすの馬は別に作る。この日の供物は畑の初物をあてる

ネムタ流しについては七夕の日枝豆の葉とネムタの葉を川に持つて行き

ネムタの葉は流れろ

と呼んで七夕の竹や馬と共に流すのである。

平の七夕祭

大正の頃までは平の七夕は農業行事と思われた。商業都市として発展するに及んで東北第一といわれた仙台市をしのぐ商業宣伝のための七夕祭となつたのである。万余の費用を使い商店が競つて工夫をこらし数万の観衆が市内に集る七夕祭は、おそらく全国有数のものであろう。

× ×

年中行事のうちで市民や近郊の人々に愛され楽しませるものの最大の行事として七夕祭が行われるようになつたことは喜ばしい限りである。と同時に、ゆかり深い昔からの行事も取り入れ、経費の節約も考慮して名実ともに立派な七夕祭としたいものである。冷害とデフレに悩む石城の人々に楽しい七夕祭としたいものである。

(二九年七月二二日記)

鈴木光四郎

商店荒しの女賊

平署では二十六日内郷市宮町御台境無職坂本京子(三二)を詐欺容疑で逮捕した。

同女は市内で拾つた平信用販売組合のチケツトで、平製パン、大黒屋、藤越などから二千円相当の品物をとつていたが同日午后四時ごろ市内を排回中捕まつたもの、余罪相当あるものとみて追究中である。

一万円を寄附

世界館主、市議鈴木寅次郎氏は故妻孝刃自生前の遺志として廿六日平福祉社会協議会に二千円、平一小二千円、同一中二千円、磐女高二千円、白銀青年会二千円をそれぞれ寄附した。

天氣予報

(明日)南後東の風曇り時々晴一時にわか雨がありましょう
(海上)多少風波がありましょう

堂々3本立

「家の光」百万人の読者が二カ年間泣いた母小説の傑作
母時鳥
三益愛子 南田洋子

片岡千恵蔵折紙つきの駒形茂兵衛
一本刀土俵入

東映 完結篇 暁の闘
里見八犬伝
片岡千恵蔵 高峯三枝子 徳大寺伸 白谷いづみ 植木千恵 松浦築枝

28日より 世界館

監督 内出好吉
北上弥太郎・若杉英二・藤乃高子・雪代敬子
明日本の暁を告げて天狗党蜂起
れい陰に綴る男の友情!!
美男天狗党

同時公開
東京ロマンス
重盛君上京す
NHKの評判音楽喜劇映画化
新東宝の明朗ミュージカル喜劇
森繁久彌 柳家金語楼 笠置シヅ子

28日より封切 平館

謹告

当館取締役鈴木孝儀死去に依り勝手乍ら本日(二十七日)休館させて戴きます なお明二十八日より平常通り開館致します

株式会社 世界館

労災保険指定
外科 諸橋医院
平市下川原四

孝徳院 葬送の際は御多忙中にも拘らず遠路態々御会葬下され且つ御鄭重なる御香奠を賜わりまして誠に有難う御座いました
実は一々拝趨の上御礼申上ぐべきで御座いますが略儀ながら紙上を以て御厚礼申上げます

昭和二十九年七月二十七日

平市白銀町四の一
施主 鈴木寅次郎
親戚 代表 大須賀福次郎 志賀国太
葬儀委員長 加藤武久
友人 代表 高木松吉 蓮沼龍輔 馬目武之助 立花秀吉 強口唯七郎

失保の不正發覺
職安 新福島炭礦にメス

平職安所と県失業保険課では赤井村字高萩新福島炭砿＝経営者平市田町花塚好美氏(四七)＝に総額二百万円にのぼる大掛りな失業保険の不正受給があるのではないかと見て、去る五日から取り敢えず仮認定で失業保険金の支払停止を行うとともに内ていを進めていたが更に二十六日には羽生監査官を現地に急派して徹底究明に乗り出した、失保の不正受給問題は先きにも田人村の八ツ葉炭砿が摘発されたが、今回のはその規模、金額などからしても失業保険法施行以来の悪質な事件に発展するのではないかと見られ、注目されている。

總額二百万圓に達す
失保開設以來の悪質違反か

新福島炭砿は昨年七月、男三十四名、女子十名の従業員中男十四、女八の計二十二名を首切り、冬場に入つてこのうち若干を雇用したが、本年二月から現在までの間に三十三名を整理し、今では二十七名の従業員を数いるほどに縮少しているが、同炭砿の離職票を調べると整理前の数ケ月の賃金がいずれも平常の四割方多く、首切りを見越して水増した形跡が強く、平職安ではこのため三ケ月前から内偵を進めていた。

これに対し同炭砿では職安の要求を真向から拒み、書類や、賃金支払明細書などの提出を拒否したので、職安では去る五日支払停止の仮処分を行うとともに県の来援を得て本格調査に乗り出したものである。

水増しや無資格者

この結果
▽会計簿には離職要に記入してある賃金より下まわる額が記入されており▽また肝心の六、七月分は燃してしまつたと言つていまだに提出していない▽雇用六ケ月に満たないもの十数名が失保を受けていたなどが上げられ、これらに支払れた保険金は昨年七月の百五十万円を始め本年二月以降の分を含むと二百万円に達するものとも見られている。

断固処分
加藤所長談

事件はまだ明確でないので更に徹底調査を進めているが、水増による不正受給の疑いは九十パーセント確信しており、明らかになり次第厳重処断する、世の不況につれこのような事件発生も憂慮されていたものだが、離職票の認定厳査と違反者の厳重処分で一掃に努める、不正が判れば、全額返還を要求され困るのは失業者自身なのだからこの点十分注意されたい。

図書部会

常磐市湯本公民館の図書部会は二十八日午後六時半から同館で開き行事費及び図書購入費予算配分、図書購入方針、読書会育成及び巡回文庫作成、八月行事などについて協議する。

平署幹部の歓迎会

警察法改正に伴い七月一日から新発足し治安の維持にあたつている平警察署佐藤署長、及び幹部署員の慰労歓迎会は二十九日午后三時から市公会堂日本間で、市長並びに名士多数列席のもと盛大に挙行される。

農事研究会

常磐市湯本農事研究会では、二十七日午前九時から同地内の水田六十町武にポリドール液を自動噴霧器四台、手押噴霧器十台で撤布し病虫害予防の一助に徹底消毒した。

商工課長に
新妻氏

予ねてから問題となつていた平市役所商工課長の人選は右エ曲折して難航を続けていたが、このほど常磐市役所総務課長新妻一男氏(五〇)を起用することに内定八月一日付で正式発令するもようである、新妻氏はもと平市庶務係主任、文書係主任を兼務、役所生活十六年を経て退職、常磐市議会事務局に就職、市制施行と同時に現職に就いたもので、去る三月ころから伊藤助役、金古議長らが常磐市長らと交渉して来たもの。

トラップ射撃大會
八月五日谷川瀬射撃場

平市射撃クラブ、県射撃協会主催の第四回射撃大会（夏季トラップ射撃大会）は来る八月五日午前八時から平市谷川瀬の常設射撃場で開催されることになつた

◆自動トラップ機を使用し、前面一ケ撃十回として二十点を満点

◆射撃規定は平射撃倶楽部規定、他は一般規定とする。

◆最高同点者が二名あつた場合は驚射により順位を決定する

なお大会はA組、B組に分かれ賞として一位から十位まで、他に残念賞、時間奨励賞、努力賞があり一位の優勝杯は県射撃協会から贈られたものである。

學卒の就職地獄
平職安早くも求人開拓本腰
明春こそ

平職安所では明春三月に中学校を卒業する就職希望者が今年四月より一割も上廻つており、デフレ政策がこのまゝ押進められれば就職率は五十パーセントも難かしいという見通しから、例年なら二学期に入つてから行つていた就職指導を今年は一学期から始めているがさらに就職向上の対策を研究している現在考案中のものに。

◆雇用主と職安所及び学校側の懇談会を開いて求人開拓をはかる、◆事務所の協力を求めて実習所を開設、夏期休暇を利用して生徒の実習を行う、◆職業適正検査の実施、◆就職決定者には赴任旅費を支給する。

なお来春の卒業生は男三千五百五十五名、女三千四百二十五名、うち就職希望者は男千六百五十四名女千五百五十五名となつている。

国有林払下協議会 は二十八日午前九時から石城地方事務所に国有林関係者十五名があつまつて開かれる。

銘菓 平餅（ぴんぴん） 松月堂

詩集〝阿武隈の雲〟發刊に寄せて

山田緑雨

詩人三野混とんは今日（七月二十五日）「阿武くまの雲」と銘打つた詩集を発刊して、その出版祝賀講演会を平市公会堂日本間で催された、

うら若き女性群像半分以上か？会集約百余、詩人草野心平、作家岸田両氏の講演あつた、会集は何れも文芸愛好の人なり、三野君は磐中十回出、私の二回下

赤井岳を仰ぎ見、湯の岳を遥望して開拓の鍬を振い四十年、その君が明け暮れはまさに苦行の四十年であつた、ボロボロの仕事着をつけ無言の哲人としての聖純高雅なる君の聖い姿を私は数回山を訪れてつぶさに見た、あゝ今日四十年、君が「心の巡礼」「霊の遍歴」の血と汗の行の結晶こそは「阿武くまの雲」一巻となつて常陽の文壇を、否日本に……汚職、親子心中と戦争準備の腐敗、殺伐、ダラク、暗黒混とんの宴の中へ公けにされた、一時の清風吹き来つて、この長梅雨になやむ人々の心を洗ふの感あり、君の詩はありふれた所謂「詩」ではない！大地に肉をたゝきつけ涙をそゝぎて空に心を、霊を放つ、徹底苦行の血涙の凝結である。二十六日午前二時半記す

平市内三地區の農委正副会長決る

平市では二十六日新期農業委員三十九名を市会議室に招集、午前十時から第一回農業委員会を開き平、飯野、神谷三地区毎に夫々委員会長、同会長代理及び農業代表者会議の代表出席者を選任し終つて二十七日地方事務所会議室で開かれる石城地方農業委員代表者会議に出席する代表者一名の選出に移つた、なお各地区会長、同代理、及び出席者は次の通り。

◆平委員会、会長伊藤秀吉、同代理鈴木政一、代表者福田長一郎、

◆飯野委員会、会長佐藤平吉、同代理江尻助元、代表者小野善秋、

◆神谷委員会、会長佐藤儀三郎同代理荒川福彌、代表者木村帯雄。

ウエスキー盗む

平署は二十四日平市南町小松屋旅館に宿泊中の東京都板橋区九丁目一六四五家具修ぜん業佐藤五郎(三五)を窃盗容疑で逮捕した。

佐藤は同日午後十一時ころ平市田町三幸デパート前の屋台店＝鈴木三十さん(三〇)＝で千円をくづしてくれともちかけ鈴木さんのすきをみてトリスウエスキー一本時価四百円相当を盗んで逃走したもの。

素人のど自慢（八日内郷）

内郷市の市制施行NHK素人のど自慢大会は、市と青年会、NHKの共催で、市制施行記念祝賀日の八月八日午後一時から、同市浅野記念館で行われる、尚録音放送は八日午後零時十五分から放送されるが、出演希望者は、市役所或は平放送局に早めに申込みのこと。

トラック人家に転落

二十六日午后三時ころ平市上平窪鬱内地内県道を走つていた平市禰宜町五三平運輸トラック＝運転手赤塚衛(三二)＝が同地内カーブで運転を誤まり約二米土堤下の無職佐川幾さん方(七八)に転落して、同家のひさしをこわし三万円相当の損害をあたえトラックもスプリングフインダーなど約五万円位を小破した。

割烹 開花 田町 電一三八九

平保健所 では三十日午前九時から磐城共立病院に管内病院給食関係者約三十名を集め、病人の栄養についての講習を中心に病院給食研究会を開く。

嚴かに執行
きよう鈴木孝さん盛儀

本社取締役、市議鈴木寅次郎氏夫人故孝さんの葬儀は、本日午後二時から平市白銀町の世界館で盛大に執行された祭壇両側には大映永田社長、衆院議員高木松吉氏はじめ内外知名士から贈られた百余の花輪で飾られ、稀にみる立派な葬儀でなきがらは午後二時出棺九品寺に埋葬されたが、今更のように孝夫人の生前の徳がしのばれた。

中学校水泳

石城中学校体育連盟主催の郡下中学校対抗水泳大会は二十七日午前九時から内郷市金坂プールに百余の各校代表選手が参加して挙行し

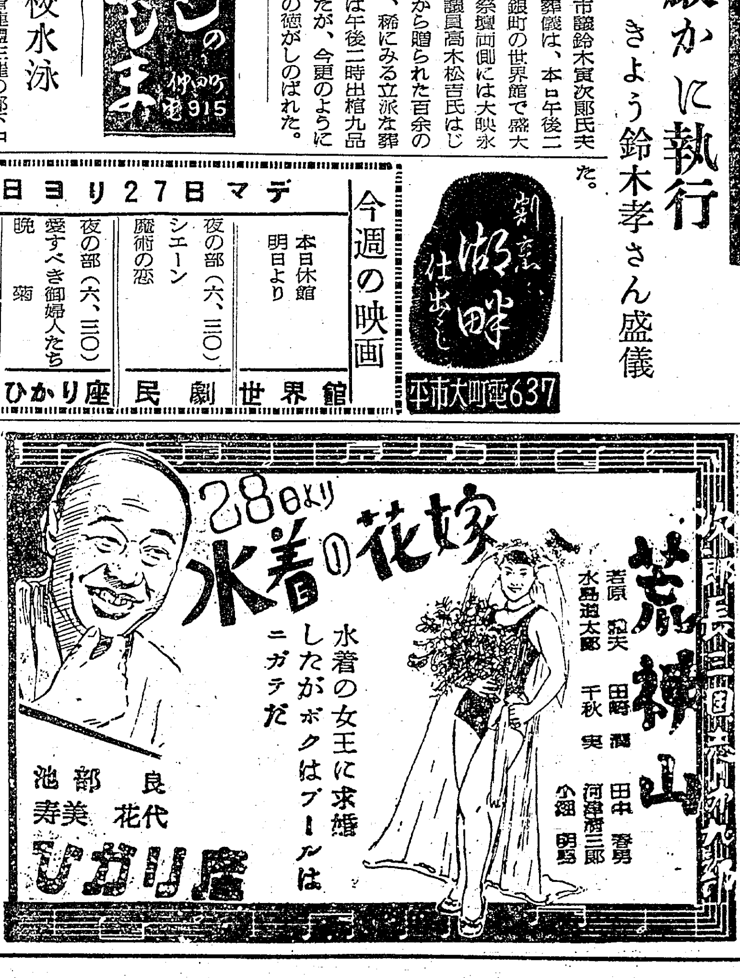
寿しのみしま 仲町 電915

割烹 湖畔 仕出し 平市大町電637

今週の映画

21日ヨリ27日マデ

世界館	民劇	ひかり座	平館
本日休館 明日より 夜の部（六、三〇）	シエーン 魔術の恋 夜の部（六、三〇）	愛すべき御婦人たち 晩菊	女の暦 昨日と明日の間 夜の部（六、四〇）



東水画房

締切迫る！

懸賞寫眞募集

蚊帳の要らないガンマー錠を使用してる情景をスナップしたもの

賞金二万圓進呈

副賞 平地区写真材料商賞 常磐毎日新聞社賞

締切……七月末日　発表……八月初旬

審査……主催者並に後援者　賞品……推選一名特選二名入選五名

佳作……若干名

◎尚入選作品は平市内にて展覧会を開催する予定です

◎規定書は附近の写真材料店及び薬店に有ります

主催 中村滝商店 常磐製薬KK

後援 平地区写真材料商組合 常磐毎日新聞社